

環境に関する提言書

近年、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出増加による地球温暖化や、海洋プラスチックごみが生態系に及ぼす影響など、環境に関する問題が世界的に大きな課題となっていますが、福井県も例外ではありません。

本県においても、昨年7月に策定された長期ビジョンにおいて、2050年の二酸化炭素排出実質ゼロを目指し、再生可能エネルギーの導入等を進めるとともに、食品廃棄物やプラスチックごみの削減などの環境対策を進めるとしています。そのために、県民一人ひとりの環境配慮型のライフスタイルへの行動変容を促進するなど、県民が一丸となって取り組まなければなりません。

そこで、以下のことを提言します。

- 1 ICTを活用し、小水力発電や農地における太陽光発電、風力発電などの地域の特性を活かした再生可能エネルギーの導入拡大を進め、災害時における再生可能エネルギーによる電力供給に向けた支援を行ってください。
- 2 環境負荷の少ない電気自動車や燃料電池自動車などの次世代自動車の普及には、急速充電器や水素ステーションの整備などとともに、民間の人たちの知恵を活用した普及啓発などの取り組みが必要です。産業界と行政が一体となった、普及の仕組みを構築してください。
- 3 プラスチックごみの焼却による二酸化炭素の排出や食品ロスによって生じる食品廃棄による環境悪化を防ぐため、プラスチックごみのリサイクル推進や使い捨てプラスチック使用削減、おいしいふくい食べきり運動の推進やフードバンク、フードドライブの普及に取り組んでください。
- 4 環境問題は一部の人の意識だけでは解決しないことから、一人ひとりが環境に対する意識を持ち、行動できるよう、学校における特別授業を実施するなどの環境教育を推進してください。

令和3年8月4日

福井県知事 杉 本 達 治 様

福井県立丸岡高等学校

チーム「Go to eco」

渡 邊 未 空 白 川 悠 大

加 藤 朔 太 兀 橋 斗 羅

栗 原 彩 夏 牧 田 愛 子